

夏休み

学校教育目標

- よく考え進んで学ぶ子
- 心豊かな子
- ねばり強い子



発行者

那覇市立城北小学校
校長 有銘 祐子
TEL 098(917)3303

思いやりの心を

沖縄県では、新型肺炎コロナウイルス感染者の数が、日を迫うごとに増えてきています。そこで、夏休み明けの感染状況と、それに伴って「偏見」が大変気になります。「偏見」は、いじめに繋がる重大事項だと捉えています。いかなる時でも、子ども達が安全に、安心して学校に登校できるようにと考え、昨日の朝の会で校長講話として、下記のことを放送にてお話しさせて頂きましたので、ご家庭でも、コロナ感染について話し合ってください。

おはようございます。あさって（8月1日）から、夏休みですね。

今年の夏休みは、いつもの年と違って、新型コロナウイルス蔓延防止のための休校があったため、短い休みとなってしまいましたが、有意義に過ごしてください。

そこで、城北っこのみなさんに校長先生から3つお願いがあります。

この一週間、毎日のようにコロナ感染者が増えてきている沖縄県です。

1つ目に、感染防止として人混みに行かない。外出する時は、必ずマスクをし、帰って来たら、手を洗う、できたらうがいや、顔を洗うなどをして、外からの菌を落としてください。

2つ目に、早寝早起きを心がけること。しっかりご飯を食べて、軽い運動等をし、強い体を作ってください。

3つ目に、もし、お友達やお友達の家族の人が、コロナにかかったとしても、その人を避けるようなことを、言ったり、行動したりしないでください。

コロナにかかりたい人は誰もいません。このコロナは、目に見えないウイルスというものが起こす病気です。病気は治ります。でも、今回のコロナがこんなに騒がれているのは、感染力、うつる力が強いこと

菌が体の中からなくなるまでに、時間がかかること

また、確実に効くという薬や、予防するための薬、予防接種がまだできていないことが、みんなを不安にさせていることだと考えます。

もちろん、校長先生も、かかったらどうしようと毎日心配しています。だから、マスクも、手洗いもします。でも、うつる可能性はあります。最近の感染状況を見ていると、誰がかかってもおかしくない状況で、夏休みが終わった後、どのようになっているか大変心配です。

人は、体の病気は、病院に行ってお医者さんの指示のもと、治すことはできます。でも、心の病気は、病院に行ってもすぐ治るものでないことが多いです。そこで、みなさんにぜひ、お友達に対しての「思いやり」を持って欲しいと思います。

先日の放送でお願いした、「学校には歩いて登校しましょう。」も、守られてきています。ありがとうございます。これからも、歩いて登校する城北っ子でいてください。

このコロナに対する「思いやり」についても、ぜひ、夏休みに入る前に、学級で話し合いをしてください、よろしくお祈りします。

夏休みについて

期間：8月1日（土）～8月10日（月）

協力依頼：夏休み期間中も「健康観察シート」の記入をお願い致します。夏休み明けの11日朝までは、本日配布の夏休みバージョンをお使いください。

城北小学校は、児童、教職員併せて800余人と大所帯です。800余人の後ろには、その数倍の家族があります。みんなの健康を守るために、ご理解とご協力をお願いします。

昨日、那覇市教育委員会より、夏休み中に感染が拡大し、対応を要することになった場合は、8月6日に連絡が来ることになっております。その後、学校の対応について検討し、保護者の皆様には、マチコミおよび学校ホームページにてご連絡させていただきます。

例年、城北小学校の校庭で行われておりましたが、おはよう会のみなさんによる朝のラジオ体操は、新型コロナウイルス蔓延防止のため、今年度は中止となりましたので、各家庭で、ラジオ体操をはじめ、軽い運動等を行ってください。

短い夏休み、かつ、コロナ感染が気になりますが、少しでもリフレッシュしてください。